



みやざき たけし
宮崎 武さん
(昭和7年生まれ・83歳)



てらい ゆうと
寺井悠人さん
(香川県立丸亀高等学校2年)

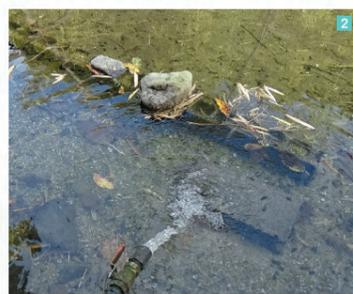
コーディネーターより

丸亀城のお堀の側で育った宮崎さん。子供の頃は土器川にも淡水漁師がたくさんいたそうです。中でも讃岐のドジョウは美味しいと評判で、大阪では高値で取引されていたとか。しかし高度成長期に田畑で農薬が使われるようになると、ドジョウは土器川から姿を消しました。以来半世紀以上、宮崎さんは綾川の上流に自ら養魚場をつくり、ドジョウの養殖法を研究する一方、「土器川生物研究会」を立ち上げ、土器川の調査やドジョウの稚魚の放流など、多様な生物が住める豊かな生態系を後世に残す活動を続けています。聞き慣れない言葉が多かったけれど、川を知り尽くした名人のお話に、一生懸命聞き入っていた寺井さん。宮崎さんがドジョウを養殖している綾川養魚場でお話を伺いました。

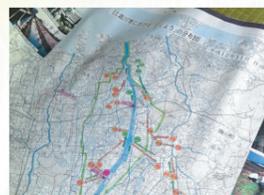
うが優先やったから、こっちの声は届かなかったと思う。それやったら自分でやってみよう、土器川の生態調査やドジョウの養殖を研究しはじめたんや。最初は今の場所よりも下流で養殖したんやけど、どんなにしてもドジョウがほとんど死んでしまう。それで上流の一番水の綺麗なところを探して、今の場所に本格的にドジョウの養殖所をつくった。全国でもドジョウ養殖はまだやっとならんかったから、最初は何回も失敗して笑われたり。辛い目もだいぶしたわ。だけど、何を言われても一生懸命続けてきたんや。根気強くやるうちに、やっとなんやの養殖に成功してな。最初はうまくいきよったんやけど、続けていくうちにわずかに数パーセント、奇形のドジョウが生まれるようになった。それで自然の川と同じように、いけすにオスとメスのドジョウを入れて自然繁殖する方法に切り替えたんや。やっとなんや8年くらいで奇形になるドジョウが少なくなってきた。完全に奇形がなくなるまでもうちょっと、それまで自分の命があつてくれたらいいんやけど。

宮崎さんは土器川のも調査されていて、防災面でも市や県にアドバイスされているそうですが、防災と川を守る活動はどう関係しているのですか？

自分だけが川や魚を守るんではいかんと思う。川はみんなのもの。だから皆で考えて関心を持ってほしい。そう思って、平成5年に「土器川生物研究会」を立ち上げた。土器川の調査や地元の子供たち



何度失敗しても、やり続けることが大切。



1 土器川の支流となる綾川の養殖場にて。宮崎さんの半世紀にわたる研究の成果がここに詰まっている 2 ドジョウ養殖のために川から引水した貯水場。水底が透けて見えるほど透明度が高い。この水をドジョウが住みやすいよう、別のいけすで数日間ゆめ、泥などと混ぜて使う 3 いくつか区分されたいけすでは、ドジョウの成長度や雌雄によって、分けて育てている 4 定期的にいけすの水を抜き、泥の中からドジョウを捕獲して計測。育ったドジョウは成長度に応じて繁殖用の広いいけすへ放す 5 丸々と太ったマドジョウ 6 宮崎さんは、丸亀市と連携し、土器川等のドジョウの生息分布を調べたり、放流活動も行なっている



川はみんなのもの、だから関心を持ってほしい。

土器川のドジョウ博士 宮崎 武さん(丸亀市)

宮崎さんから受け取った言葉

— なんで土器川で環境調査やドジョウの養殖をされようと思われたのですか？
自分がここで生きるんやったら、土器川のことを考えたほうがええかと思っ。単純なことかもわからんけど。

— 何かきっかけがあったんですか？
あるよ。昔は土器川にも淡水漁師がおって、うちもドジョウで生計を立てよったんや。それが昭和35年頃、高度成長期に農薬を使うようになってからいかなようになった。それまではようけ獲れよったんやけど、ある日突然、ドジョウが死んでしまうとなんや。川に農薬混じりの水を放ったから。それはいかんと思っ。役所にもいろいろ陳情したんやけど、小規模な漁業者の声では、そこまで届かなんや。

— 声が届かなかった？
あの時代は、農業の生産性を上げるほ

と、ドジョウの稚魚の放流する取り組みもはじめたんや。災害になったら、川の水が生活用水になったり、必要となる。みんなの川やからみんなに知ってもらって、川を守るだけでなく、防災という形でも必要になることを頭に入れたら、土器川のことを考えてほしいなと思っ。

— 宮崎さんはこれまで、いろいろな川の環境や生物を守ろうとしてこられたと思っ。うんですけど、僕たちが川や環境のためにしたらいことは何だと思っますか？
一番大事なのは、自然に近づいて日本のええところを目指すんや。自分もそれを目指して、土器川の活動をやり続けてきた。みんな夢や希望を持つとるやろうから、ちよっとしたからやめるんやなくて、続けてやらないかんと思っ。川は一度汚したら簡単には戻らん。大切に使うてほしいな。

参加者の感想



僕が宮崎さんをインタビューして一番感じたことは宮崎さんのような人がいたから、今の川に環境を再生することができたのではないかと。宮崎さんは批判を受けながらも、途中でやめることなく川を再生しようとして昔から多くのことを試みました。僕たちは環境を守るための方法を知っています。宮崎さんたちが守り、つないでくれた環境を守り、より良くし、次世代につないでいく必要があるのではないかと思います。